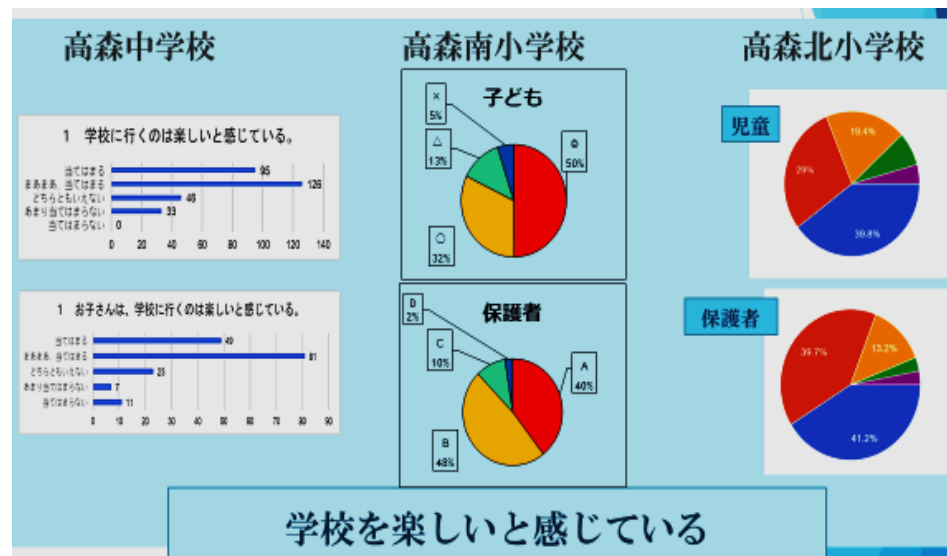




また、学校を楽しんでいると感じている子どもは、高森中学校：71%、南小学校：82%、北小学校：70%で保護者は、高森中学校：76%、南小学校：88%、北小学校：78%でした。
◆「さらに伸ばしていきたいところ」の取組でこの割合は間違いなく上向きに

改善されていくことと思います。

～地域の皆さんとの協働学習の様子から一部を紹介～

◆学習支援ボランティアの皆さんとの協働学習の様子をお知らせします。

ほたるの幼虫を育てる

高森北小学校4年生は地域のホタル管理委員会の皆さんの指導をいただきほたるの幼虫を育ててきました。学習を進める中で劇を作って地域の皆さんに見ていただいたりしてきました。3月5日には山吹保育園年長さんも加わり「ほたる水路」にその幼虫、約300匹を放流しました。6月、たくさんのホタルが天伯峡で光り舞い踊ることを楽しみにしています。



市田柿を作ろう

高森南小学校の4年生は、恒例の市田柿づくりに取り組みました。木下さんや、河合さんの指導、そしてボランティア皆さん、保護者の皆さんと一緒にいねいに柿の皮をむき、吊るして燻蒸ができるようにしました。おいしい市田柿ができるというなど、一生懸命取り組みました。



とうふを作ろう

高森南小学校、北小学校の2年生は、高森おもてなし豆腐の会の皆さんと一緒に豆腐づくりを行いました。今年は両校とも大豆が不作でしたが、ボランティアの皆さんの手配で何とかできました。子どもたちは教えていただいた手順を確かめながら進めます。包丁の使い方も教えていただきました。しぼった豆乳にニガリを入れて豆腐が出来上がり。オカラはサラダにいただきました。



高森町コミュニティスクール通信

No.2 令和6年3月11日
高森町 CS 地域学校協働本部
高森町公民館

～令和5年度 第4回学校運営協議会から～

子どもの伸びた姿や学校の良さを共有 さらに伸ばすにはどうする

◆2月20日（火）に今年度第4回の学校運営協議会を開催しました。今回は小中3校から報告があった学校自己評価をもとに、3校のグランドデザインで目指す子ども、願う子どもの姿がどう具現化されたか、それぞれの学校の子どもたちの一年間の成長や学校の良い姿を共有して、さらに伸ばしていくためにはどうしたらいいのか、何が必要なのかを考えました。

素敵な歌声、挨拶の響く高森中学校 総合の学習で培われた3年生の追究力、発表力 地域応援ボランティア活動での活躍

◆委員からは、高森中学校の子どもたちの良い姿として「歌声、挨拶が響く」「地域応援ボランティアでの活躍」などが指摘されました。さらに、2年生の「みらい懇談会」から続く総合の時間の学習で培われた追究力、発表力の向上、そしてその達成感が子どもの自信につながっているという指摘や、不登校支援「ぱれっと」での活動を通して元気になっていった子どもの姿も報告されました。こうした姿を認めることで子どもの自己肯定感、有用感が高まります。



地域に出での探究活動をさらに進めて 学級メンバーで高め合う風土づくりを

◆さらに伸ばしていくために、学級集団作りを意識した授業展開を工夫したり、学校開放の機会を増やしたりしたらという意見、今年から始まった中学生地域応援ボランティア活動へは自主的な参加をもっと促したらという意見も出されました。PTA 保護者も繋がり学び合うことが必要という意見もありました。

高森中学校グランドデザイン

- 重点1 共に学ぶ喜びを実現する授業の創造
- 重点2 豊かな心・人権感覚の育成
- 重点3 地域と共に歩む学校づくり

目指す子ども像

一人ひとりが自分のよさを自覚し、自信を持って表現しようとする生徒
《自己有用感と表現力の育成》

高森南小学校

相手を思いやる心の成長、さわやかな挨拶
総合的な学習で伸びた発表力、追究力



◆「自分をたかめよう」「他の人をもりあげよう」をテーマに掲げて取り組まれた高森南小学校。委員からは、挨拶がよくなっている、他の人を思いやる心が育ってきているという指摘がありました。また、6年生を中心に、他の学年でも「みらい懇談会」「総合的な学習」の取組により発表力がついてきているという意見も出されました。また、不登校生が登校できるようになって来たという意見も出されました。

PTAと学校の協力・情報共有、そして 相互のコミュニケーションをさらに高めよう

◆子どものこと、学習のこと、生活のこと等、保護者と学校で情報を共有して、相互のコミュニケーションを高めていくことが大事だという指摘がありました。なんでも相談し合えることは同じ視線で子どもを見ていく上でとても大事なことです。願う子どもの姿に近づけられるようにするには学校だけではできないこともあるわけですが、また、職員も地域へどんどん出て行ってほしいという意見も出ました。

高森南小学校グランドデザイン

自分をたかめよう・他の人をもりあげよう

- ◆意欲を喚起する楽しい授業づくり
- ◆「関わり」を生み出す地域学習の展開
- ◆継続的な活動の展開

願う子どもの姿

ねばり強くたくましい子ども
自ら考え実行できる子ども
温かく思いやりのある子ども
ものごとにけじめのある子ども

高森北小学校

地域と協働して子どもが伸びている
発表の機会が自己表出する力に

◆高森北小は地域へ学校を開き、地域と協働して学習ができているという意見が出されました。4年生のほたる学習や6年生の「みらい懇談会」の学習など、地域のことに関心を持ち追究していく力がついてきている、そして様々な場で子どもの発表を保障していることも大事であるという指摘がありました。また、異年齢交流が子どもを育てているという意見も出されました。



発表する場を生かし伝える力をさらに付けたい 親同士が繋がり、学ぶ場を

◆学習発表の場が多く子どもたちにとっていいことであるが、表現力や伝える力をさらに付けていきたいという意見や、協働する良さを教師も親もさらに体感してほしいという意見や、PTA・親同士ももっと繋がりを持つことが大事であるという指摘が出されました。

高森北小学校グランドデザイン

繋がる 高まる 1 up

- ◆「繋がる学び」により自己肯定感を高める
- ◆「相手意識を持ち繋がる活動」により
自己有用感を高める
- ◆「地域とつながる活動・発信」により達成感を高める

目指す姿

友だち・地域と協働し、自他のよさを認め合いながら
たくましく やさしく育つ 山吹の子ども

「わくわくする授業」「わかる授業」 「楽しい授業」「協働追究授業」の構築

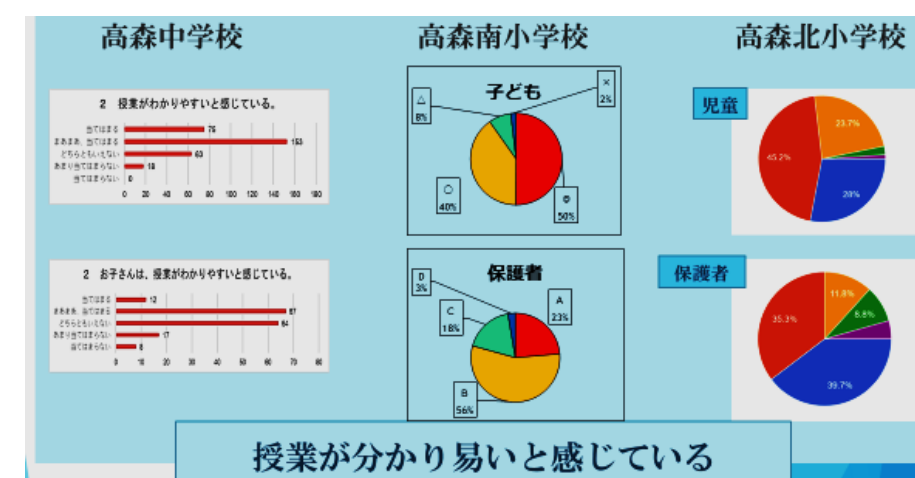
◆委員からは、小中3校への共通意見として授業改善を、という意見が出されました。

「三校の先生方は忙しい中で本当に頑張ってやっていただいている」という前提で、さらに

- 学級集団作りを意識した授業の展開を
- 子ども同士の追究で成り立つ授業を
- 図書館での追究授業の良さ、ICT活用の良さを駆使して
- 地域へ出た探究活動を大事にして
- 学習支援ボランティアとの情報交換をさらに進めて
- 地域題材を授業にもっと取り入れて
- 地域の方とのかかわりをもっと増やして



学校は、授業がわかりやすく楽しいところに



◆学校自己評価で、「授業がわかり 6 やすい」と答えた子は、「そう思う・だいたいそう思う」の割合で
高森中学校：72%、
南小学校：90%、
北小学校：74%
保護者は、
高森中学校：43%、
南小学校：79%、
北小学校：75%でした。